

「緑があふれ 笑顔があふれる ふるさと本城」
～つよい絆で活気あふれる住みよい
まちづくり～
第2期(令和5年度～9年度)

地域コミュニティプラン

「校区振興計画書」



本城校区コミュニティ協議会

所在地 鹿児島市本城町1823-1

TEL 099-294-1741

FAX 099-294-1742

Eml honjyo.community@po5.synapse.ne.jp

「もくじ」

- 1 会長あいさつ
 - 2 校区の位置図
 - 3 校区の特色 史跡 施設 伝統行事
 - 4 校区の歩み 概要
 - 5 校区コミュニティ協議会の組織体系図
 - 6 校区コミュニティ協議会の運営方針
 - 7 地域コミュニティプラン
 - (1) 計画の期間
 - (2) 校区の特徴・課題
 - (3) 各部会の現状と課題
 - (4) 活動の体系図
 - (5) プラン計画表
 - 8 資料編
- プラン策定委員名簿

1 会長あいさつ

私たちの本城校区は、吉田支所の所在地である吉田地の中心部に位置し、情報発信の中央部を生かしたまちづくりをめざさねばなりません。

ところが、近年、超高齢化社会への突入や、人口減による 町内会脱退者が増える中、地区ごとの脱退が見受けられ、人と人の絆が薄れてきている現状です。

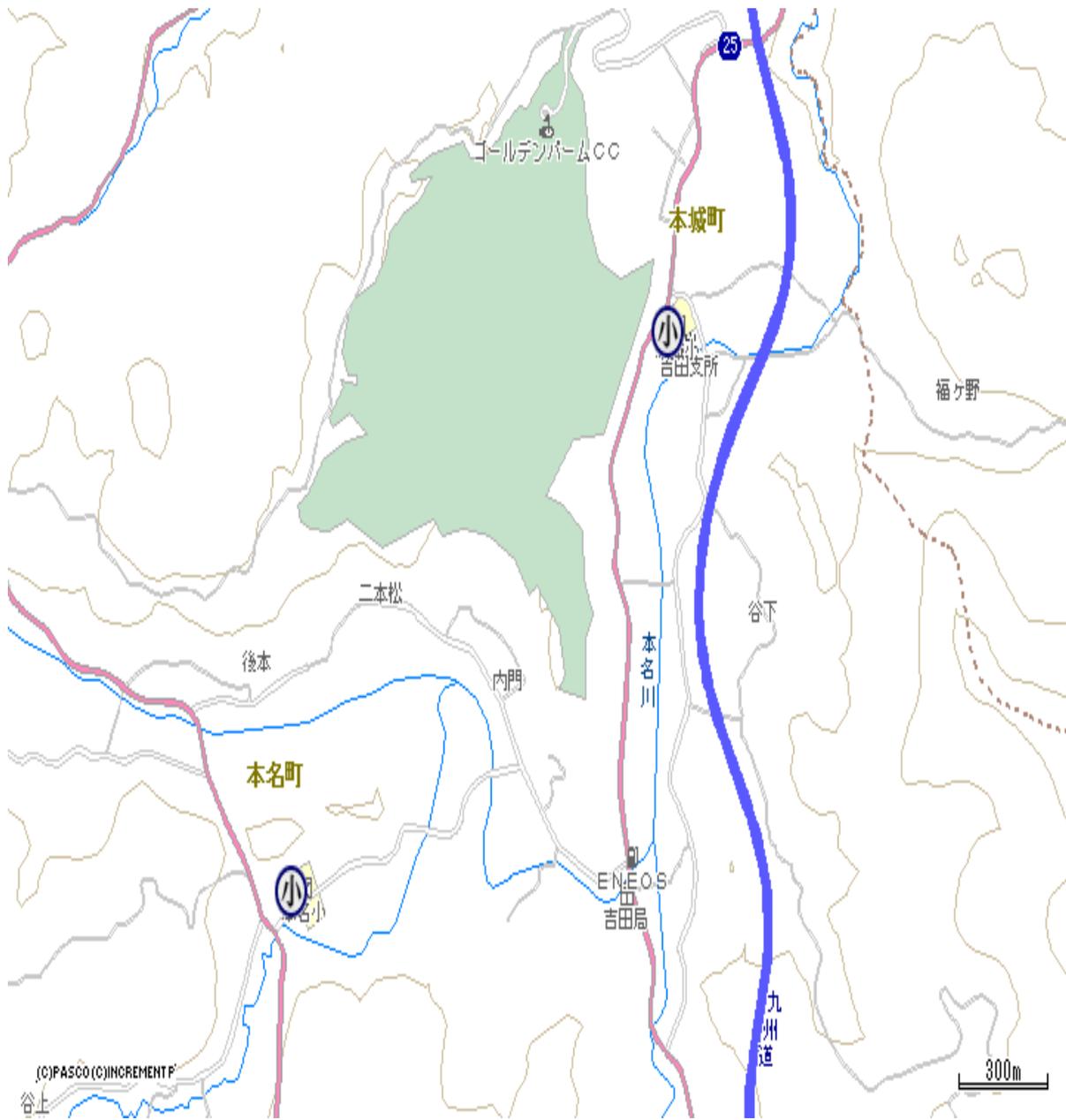
こうした現状を踏まえ、第1期コミュニティプランの検証、第2期プラン計画を令和4年3月に策定し、本城校区民のスローガンである「緑があふれ 笑顔があふれる ふるさと本城」～つよい絆で活気あふれる住みよいまちづくり～の実現をめざし、校区の更なる活性化に向けた新しいまちづくりに進むべき道を探らねばなりません。

校区の現状や課題、今後めざすまちづくりの指針とするために全住民の皆様方や校区に存在する団体・企業等を対象にした「アンケート」調査から得た資料に基づき、今後更に町内会をはじめとする各種団体、校区民の皆様方と連携し、人と人、人と地域の絆を取りもどし、安心して安全なまちづくりをめざして、本城校区の活性化に取り組んでいきたいと考えております。 今後とも皆様方のより一層のご理解とご協力をお願いいたします。

本城校区コミュニティ協議会

会長 脇田 高德

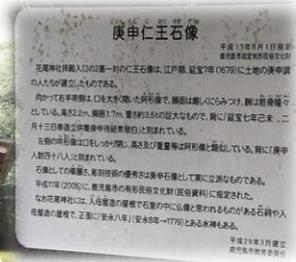
2【校区の位置図】



3【校区的特色ある風景・史跡・伝統芸能】

① 庚申仁王石像

花尾神社拝殿入り口の2基一対の仁王石像は、江戸期延宝7年(1679)土地の庚申講の人達が建立したものである。向かって右手南側、口を大きく開いた阿形像で顔面は厳しくにらみつけ、腕は筋肉隆々としている。高さ2, 2^{メートル}胸囲1, 7^{メートル}重さ約3, 5tの巨大なもので、背に「延宝7年己未、2月13日奉造立供養庚申待結衆敬白」と刻まれている。



② 花尾神社

御祭神 ・花尾大明神
・丹後局

神事・芸能 3月5日～春祭り 棒踊り(保存会が存在)田打神事(木鍬を持って境内を掘り青葉をまき、後牛使い2人が木牛を引いて土をならし、粃種子を播いて豊作を祈願する。)

由緒 鏡の裏銘に、「奉施入花尾八社大明神御生体願主藤原氏女文明十三年辛丑霜月朔日」と記してある。始め高牧山天狗岩の上に祭ってあったが、参拝困難なため元禄十二年現在地に遷し祀つた。



《千人仏遺跡供養石碑》

板碑が2基で、共に刻字がある。戦死者1000人の霊を合祀した石碑と伝えられている。高さ52cm、幅28cmのものとは高さ50cm幅31cmのものがある。



《下坊上山の五輪塔》

本城谷ノ口、旧下坊屋敷裏の阿弥陀薬師堂の庭に古石塔2基（平安時代の末期）が建っている。三国名勝図会に鎮西八郎為朝夫妻の墓と伝えられている。また、為朝が自身でこの石碑を建てて、その後南島に渡海したものともいわれている。吉田と為朝との関係は、古書によれば、為朝の次男源為重は、執印行兼賢から吉田を譲られ、後女孫の息長清道に譲り与えたという。



[伝統行事]

棒踊り

鹿児島市最北部に位置する旧吉田町のほぼ真ん中、本城地区の花尾神社の2月祭りでは現在も打植の神事と棒踊り奉納が行なわれている。もとは旧2月5日だったが、現在は1年おきに新3月5日前後の日曜日に行なっている。

公民館で支度し棒踊りをひと通り踊ってから、行列をなして神社へ向かう。

吹き流しと提灯を先導に押して立てて、田唄(棒踊り唄)を歌いながらすすむ。神社境内内で棒踊りを奉納し、田打。この間、年配者達は田唄を歌い続ける。打植神事と4種類の棒踊りがセットになって伝承される貴重な行事である。



小・中学生も参加の棒踊り



奉納に備え公民館で唄の練習

《校区伝統の鬼火焚き》

正月の7日に、大やぐらを焼いて、正月飾りについてきた悪霊〔鬼〕を追い払い、残り火で餅を焼いて健康を祈願するものと伝えられている。鹿児島県の伝統行事であり、他県では、トンド焼き・左義長などと呼ばれている。
なお、昨今本城小学校の児童数、保護者も減少していることから、「あいご会」単独の行事は、困難なことからコミュニティ協議会全体の行事として支援することし、福祉安全部会が担当することになりました。



燃え上がる炎



やぐら組み立てを終えて



点火する小学児童

校区内の主な施設



本城公民館



本城小学校



吉田支所



吉田郵便局



輝楽里よしだ館



吉田ドーム



文化体育センター



よしだ商工会館



福祉センター



保健センター



吉田公民館



給食センター



本城消防分団



児童クラブ



本城校区地域活性化住宅(市営住宅)

4 本城校区の歴史(校区の歩み、概要)

本城という地名は、戦国期より見え、大隅国吉田院の名田地であった。
江戸期には、本城村隣薩摩国鹿児島郡吉田郷(外域)のうちであって明治22年に町村制が施行されたのに伴い、吉田村の大字「本城」となり昭和47年に吉田村が町制施行し吉田町の大字となった。平成16年吉田町が鹿児島市に編入され鹿児島市の町名「本城町」となった。

西 暦	元 号	内 容
1875	明治8年	吉田小学校と改称、本城分校として設置
1889	明治22年	市町村制施行、吉田郷を吉田村と改称役場を本城に移転
1892	明治25年	本城尋常小学校創立
1936	昭和11年	吉田青年学校校舎落成(本城小学校に隣接)
1952	昭和27年	吉田南中学校本校舎完成
1961	昭和36年	小学校給食開始
1962	昭和37年	荒毛橋架橋
1963	昭和38年	村営本城地区簡易水道事業開始
1972	昭和47年	町制施行、吉田村から吉田町へ
1972	昭和47年	役場庁舎を現在地へ新築移転
1977	昭和52年	九州自動車道(吉田・鹿児島間)開通
1978	昭和53年	本城小学校校舎改築、54年屋内運動場新築
2004	平成16年	市町村合併(鹿児島市へ編入)
	平成24年3月	本城校区に地域活性化住宅建設
	平成28年3月	吉田支所耐震補強球技場改修工事

【地理】

鹿児島市の北部(旧吉田地域)、本名川の上流域に位置している。
町域の北方には東佐多町、西佐多町、南方には宮之浦町、西方には本名町、東方には始良市平松が接している。
東部は本名川沿いに集落が所在し、町域の中央に九州自動車道が通っており、本名川が流れる。北方には県道40号伊集院蒲生溝辺線が通り、中央部にはゴールデンパームカントリークラブがあり、多くの面積を占めている。
その南方には鹿児島市役所吉田支所や本城小学校などの公共施設が多く所在している。

【本城校区の世帯数と人口】

(住民基本台帳人口)

○令和2年4月1日現在

世帯数 272世帯 総人口537人 高齢化率 43.4%(65歳以上)

○令和3年4月1日現在

世帯数 274世帯 総人口527人 高齢化率 45.9%(65歳以上)

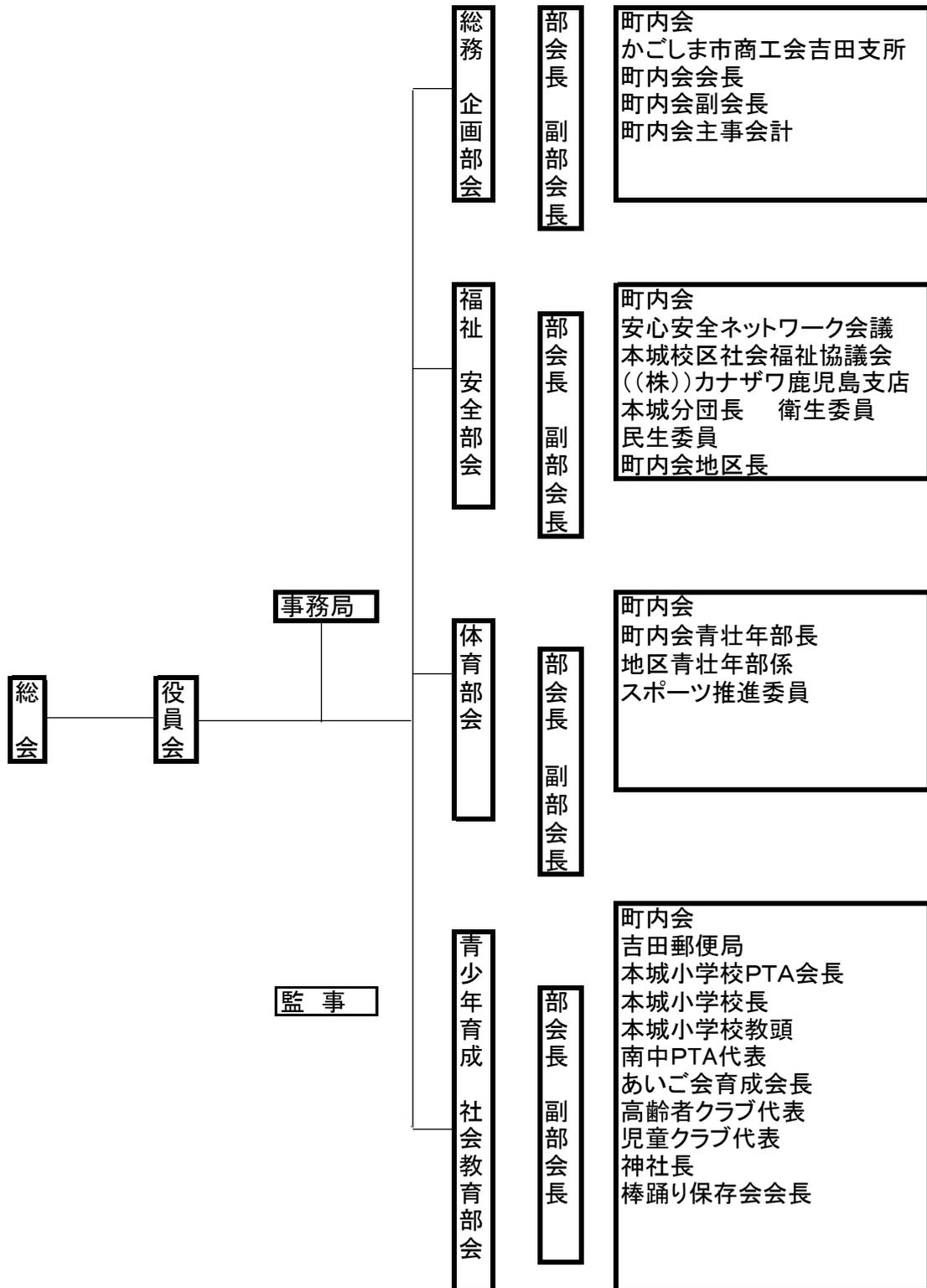
○令和4年4月1日現在

世帯数 274世帯 総人口521人 高齢化率 46.4%(65歳以上)

本城小学校児童数の推移

年度	平成30年度	令和元年	令和2年度	令和3年度	令和4年度
児童数	40	33	23	22	25

5 校区コミュニティ協議会の組織体系図



6 校区コミュニティ協議会の運営方針

〔スローガン〕

「緑があふれ 笑顔があふれる ふるさと本城」

～つよい絆で活気あふれる住みよいまちづくり～

〔運営方針〕

- 1、地域住民が笑顔で強い絆のもと連携意識を持って、地域の発展と生活環境の整備を図り、校区が主体となった潤いと活力のある住みよいまちづくりを進める。
- 2、地域住民みんなが夢や希望を持ち、共に助け合いながら、楽しく生活し続けることができる個性豊かな校区づくりを進める。
- 3、みんなで創る校区づくりを基本に、役割を分担し部会の主体的で積極的な活動の充実に努める。
- 4、各種構成団体との連携・協調を図りつつ、効率的な事業推進に努める。
- 5、地域の課題や地域住民の声を大切にして策定したコミュニティプラン「校区振興計画」を基に、自助、共助による実現をめざすと共に、関係行政との連携による活動（公助）の充実に努める。

7 校区コミュニティプラン

校区コミュニティプラン

1、計画の期間

令和5年度～9年度(5ヶ年)

2、校区の特徴・課題

本城校区は、吉田地域の中心に位置し本名川の清流に包まれる自然豊で九州自動車道も隣接し水田も広がり米作りや地域住民同士のふれ合いも盛んで、町内会や地域コミュニティ組織が取り組む青少年健全育成やふるさとづくりなどに住民みんなが協力し、取り組む素晴らしい地域である。しかし、近年高齢化の急速な進行や住民ニーズの多様化など、私たちを取り巻く環境も変化し、中心組織である町内会を離れる方が多くみられ、人と人、人と地域との「絆」が弱まりつつある現状がある。また、地域の防災・防犯や高齢者の見守りといった地域福祉など、みんなで考え、地域一体となって取り組んで行かなければならないのが現状でもある。

各部会の現状と課題

(1) 総務・企画部会

・現状

平成28年10月のコミュニティ協議会設立により本城校区公民館内に事務局を開設し、校区コミュニティの拠点として事務局が設置され事務局職員を配置した。

事務局では、年6回の役員会、各部会、コミュニティプラン策定委員会など開催し、まちづくりの活動の活性化に寄与している。

校区コミュニティ協議会の設立、事務局の設置にもかかわらず校区民の立ち寄り場として利用する頻度も少ない。諸会合、行事などについての運営計画など情報伝達が行き届いていない。

・課題

案内を出すにもかかわらず、情報が行き届いていない場合が多く会合や行事への参加がいまひとつである。

協議会発足後は、順次年間行事に基づき各会で進めて行く方向であるが、高齢化が進み特定者だけの参加になりつつある。

また、町内会からの離脱も有り活性化を図るための町内会復帰推進活動と未加入者への加入増進の取組みも大きな課題である。

(2) 福祉・安全部会

・現状

高齢者や小学生、保護者、地域住民などが主体となりサロン活動、花壇の養生などで定期的に専門分野からの指導者を招き講演、講習、実技活動を行なっている。

また、9月には校区敬老会を計画実施し、子供と高齢者との交流と高齢者に学ぶ機会としている。

・課題

健康や介護、老後の生活の不安や災害発生時の救助、避難など地域住民は個々不安を抱えており、現在の状態を把握し、子ども達が安心、安全に遊び活動する場所や活動する場所や高齢者等がふれあい集う施設の環境作りが急がれる。

上記に上げたような事業を行なっているものの、校区内への事前の広報不足や関心のなさか参加率も低い。さらには事業に関わる協力者も不足する状況である。

(3) 体育部会

・現状

校区民のスポーツ行事への参加は人員不足などにより子どもから参加できる内容に変更しなくてはならないこともある。

また、土日祝日開催であるため、仕事の都合で参加できない人がいたり、30～40代での参加者になり幅広い年齢での積極的な活動や広報など周知不足がちである。

春に実施される小学校の運動会と同日に校区運動会を実施している。

前日は、学校と協力して校区も一緒になって準備にかかっている。

また、校区運動会やソフトバレー大会などの吉田地域の体育関係行事にも積極的に参加し、それ

なりの成績の挙げてはいるが、協力者は限られている現状である。

・課題

多くの人が気軽に楽しく参加しやすい競技内容の見直しが必要である。
現状にあった、情報発信も積極的に取組み、若い世代の参加者へ行事の連絡や周知を図り参加を増やしていく手だ立てが必要である。

(4) 青少年育成・社会教育部会

・現状

少子高齢化が進み、子ども達が大人と接する機会も少なくなり、子どもたち同士の交流も少なくみえる。

部会としては、2年に1回奉納する棒踊りを棒踊り保存会の活動で青壮年部、児童生徒も加わり地域行事のメインとして先輩方からの伝統を受け継いできている。

また、「あいご会」や「児童クラブ」と高齢者との交流、吉田公民館主催、本城小PTA、本城小学校行事への参加を兼ねて成人学級を運営している。

・課題

校区最大の事業であり、伝統芸能として棒踊りに関して「保存会」における会員の高齢化、参加者の減少、人材確保と活動資金不足等、抱える課題が多い。

「児童クラブ」の施設設備の老朽改善、保護者減少に伴う「PTA」組織運営の改善「あいご会」未加入家庭への対応など課題である。

活動の体系図

まちづくりの
目標

基本方針

主な活動

主な事業名

緑があふれ
つよい絆で活気あふれる
笑顔があふれる
ふるさと本城
住みよいまちづくり

総務企画部

- ・住みよい地域の環境づくりを基盤にお互いの連帯意識に支えられた活力ある地域づくりのため、地域課題を的確に捉え、各構成団体との連携を密にし、諸施策の積極的な企画や取組みを進める。
- ・まちづくりの基盤である町内会の活性化を図り、近隣住民の絆を高め共に支え合う気風を高める。
- ・広報活動の充実に努める。本城校区のHPを活用し情報の共有を図り、積極的な地域づくりへの参加を啓発する。

- ・総括
- ・コミュニティプラン設定
- ・校区課題の集約
- ・町内会の活性化及び連携
- ・広報活動の活性化（HPの更新）
- ・主要行事の企画及び参加促進
- ・美化活動
- ・広報誌等全戸配布事業
- ・コミュニティビジネスの検討

- 総会の開催
- 役員会・三役会の開催
- 広報紙の発行配布
- ホームページでの情報更新
- まち歩き実施
- コミュニティビジネスの観点から体育部会と連携し、いたっみろかい本城オープン
- ゴルフコンペの開催

福祉安全部会

- ・校区内の安心安全の確保のため火災、地震、風水害の防災意識の普及や交通安全、犯罪の未然防止活動、危険箇所点検等を通し、隣保互助精神の向上をめざすなど、防犯防災の充実に努める。
- ・少子高齢化の進展に伴い、子育てへの支援や高齢者・傷害者を含む全ての住民が緊急時安全キッドの全戸普及等で健康で共に支え助け合い豊かな生活ができる地域福祉社会作りに努める。

- ・安心安全ネットワーク会議
- ・校区内危険箇所の点検
- ・校区敬老会の開催
- ・児童生徒や高齢者の被害未然防止活動の展開
- ・独居高齢者の見守り、生活支援、話し相手、相談活動、緊急安全対策
- 配布活動

- 高齢者・障害者の見守り
- 高齢者団体の活性化
- 校区敬老会の開催
- 危険箇所点検
- 防犯防止活動
- 健康作り
- 緊急安全キッドの全住民への配布

体育部会

地域住民の健康の保持増進と推進を図り、併せて地域住民の親睦や連携意識を深めると共に、住民総参加の活力あるまちづくりに努める。

校区運動会の開催
校区グラウンド大会
ゴルフ大会開催
ふれ合い活動の検討
地域おこしスポーツ大会への参加

吉田地域おこしスポーツ大会
・校区運動会への参加
いたつみろかい、本城オープンコンペ
世代間交流ミニバレー大会
グラウンドゴルフ大会

青少年育成・社会教育部会

明るく住みよい校区づくりのため地域の歴史と文化を継承し、生きがいや健康作りについて学ぶ気運を高める。
・生涯学習や生きがいづくり講座・各種研修の場を拡充し、地域の教育力の向上に努める。
・健全な青少年を育成するために、あいご会活動等の促進や環境浄化活動に努める
・次代を担う児童生徒の健やかな育成をめざし、学校教育活動への支援活動を推進する。

成人学級の開催
あいご会の育成支援
郷土の伝統文化の継承
郷土の伝統文化教育の講演

クリスマス会
七草祝
十五夜祭り
棒踊り
鬼火焚きについては、校区全体で取り組むことで福祉・安全部会が全面支援する。

(5) プラン計画表

総務・企画部会				5	6	7	8	9
	事業名	具体的な事業内容	事業効果					
1	総会の開催	年度当初コミュニティ協議会の予算・事業計画、役員の確認など行なう。 役員会を開催する	多くの校区民の方々に協議会の目指す方向を周知するときに、まちづくりの協力態勢を自覚させられる。					
2	役員会・三役会の開催	年5回コミュニティ協議会事務所で、事務局及び4部会長出席の役員会を開催する	事務局からの連絡、部会活動の現状把握の機会として、部会活動の活性化に役立てる。					
3	広報誌の発行配布	年二回の予定で、コミュニティ協議会の活動を照会する意味でコミュニティ便りを発行する。	構成団体の活動や校区の事業を紹介することで、活動内容やご苦勞を共有できる。					
4	HPの立ち上げ公開	HPによる情報更新	地域住民へ速やかに情報公開 役員会開催等連絡手段の効果					
5	まち歩きの実施	地区の有志で校区内を安全、環境美化、文化伝承などで多方面からの視点で見て回る。	季節や時間帯を変え天候を考え実施する事で新たな面に気づくことがある。					
6	いたっみろかい、本城オープンゴルフコンペ	コミュニティビジネスの一環として参加企業の協賛金及び広告料で運営する	コミュニティ協議会の自己財源確保につながる。					

福祉・安全部会

	事業名	具体的な事業内容	事業効果	5	6	7	8	9
1	高齢者等見守り活動	独居高齢者の見守り、生活支援、話し相手、相談活動	独居高齢者の見守り、生活支援、話し相手、相談活動を実施することで生きがい対策の効果が生まれる。					
2	高齢者団体の活性化	高齢独居世帯や高齢者を抱える世帯において行動することのモチベーションが低下している高齢者をサロン活動に誘い日常生活を送れるよう支援する。	サロン活動の実態を幅広く周知し、日常の楽しみを失っている引きこもりの高齢者に生きがいを支援することができる。					
3	敬老会の開催	これまで地域の歴史・伝統・文化を支えてこられた高齢者に感謝する活動	高齢者を敬い長寿をお祝いすることで生きがい対策の効果がある。					
4	危険箇所の点検	災害の少ない地域をめざし日常危険箇所の点検活動を実施	危険箇所の掲示板等を設置することで未然防止効果がある。					
5	防犯防止活動	犯罪による被害を防止するため、共助の精神で鍵かけ、声かけ、不在確認、安否確認を行なう。	少子高齢化や人口減、高齢世帯の増加に伴う自助の、困難さに対応し、共助の精神で防犯に努め、地域の安全確保につながる。					
6	健康づくり	運動と栄養の関わりについて専門家、講師を招き、会を開催し住民の健康づくりへの関心を高める。	健康と食生活の現状を振り返ると共に健康づくりの在り方と食事の両面から考えさせ、健康なまちづくりを推進する。					
7	緊急時「安全キット」の配布	住民の「命」を守る活動	社会福祉協議会と連携した緊急時「安全キット」を全住民に配布することで住民の安心安全な生活を支援する効果がある。					

青少年育成・社会教育部会

	事業名	具体的な事業内容	事業効果	5	6	7	8	9
1	クリスマス会の実施	あいご会活動の一環として、町内会公民館にてかんけいしゃの保護者運営で子ども達と交流す	同じ場所で多くの友達と楽しい時間を過ごす事ができクリスマスの意義についても学ぶことができる。					
2	七草祝	新年度入学の児童に対して「鬼火焚き」会場にて点火者として子ども達を紹介記念品を贈呈している。	地区民の前で紹介され地区の一員として覚えて貰い思いで深いものとなる。					
3	十五夜祭り	あいご会主催で、中秋の名月の頃公民館庭で綱引きや相撲大会など開催、他の地域では、収穫を祝う行事ともいわれている。	子ども達と地区民の交流ができ「絆」が生まれる。					
4	棒踊り	校区のイベントとして小学生から高齢者まで参加し棒踊りを花尾神社へ奉納する。	校区で棒踊りを継承することで住民同士の絆を深め催事行事の復活が進み家庭や校区の教育力高まる。					
5	鬼火焚き	新春の伝統的な行事として、継承されている行事をあいご会が受け継いできたが、児童、保護者減によりコミュニティ協議会「福祉・安全部会」が全面的支援することで継承する。	福祉・安全部会が支援することで伝統行事が継承され校区民の絆が深まる。					

8 資料編

第二期コミュニティプラン策定委員会委員(令和3年度の役員が就任)

1	委員長	脇田 高德	協議会長・町内会長
2	副委員長	蔵元 伸隆	副会長
3	委員	木場田久	書記会計
4		牧住幸二	本城小学校長
5		下伊倉大輔	本城小学校教頭
6		中川 雅文	福祉安全部会長
7		有村登	総務企画部会副会長
8		有村 鉄広	元谷下地区長
9		益満 茂樹	体育部長
10		中川 磨	体育部副会長
11		牟禮 寿	青少年育成・社会教育部会長
12		上原広幸	梅ヶ丸地区長
13		益口広美	谷下地区長
14		寺師義信	谷頭地区長
15		平城利則	基頭地区長
16		重信健一	棒踊り保存会長
17		隈崎浩子	児童クラブ指導員
18		中島徹己	神社長

